



兵庫県弁護士会
イメージキャラクター
ヒマリオン
Since2001

兵庫県弁護士会主催シンポジウム



兵庫県マスコット
はばタン

SNSと人権 民主主義の現在地



私たちの周りでは急速にSNSによる情報発信が増えており
時には世論を形成し、社会の問題に大きな影響を与えるようになっていきます。
他方で、即時の発信・拡散が可能で、匿名表現も可能であることなどから
感情的な表現が行き過ぎ、誹謗中傷が繰り返されたり
フェイクを含む誤った情報の発信・拡散といった負の側面も見受けられます。
SNSの基盤であるデジタルプラットフォーム(DPF)の特徴から
これから私たちは、SNSの表現活動について
どのように考えていけば良いのか皆さんと一緒に考えたいと思います。
是非ご参加ください。

2026
3/21土
13:00~17:00

会場 兵庫県立のじぎく会館
大ホール(3階)

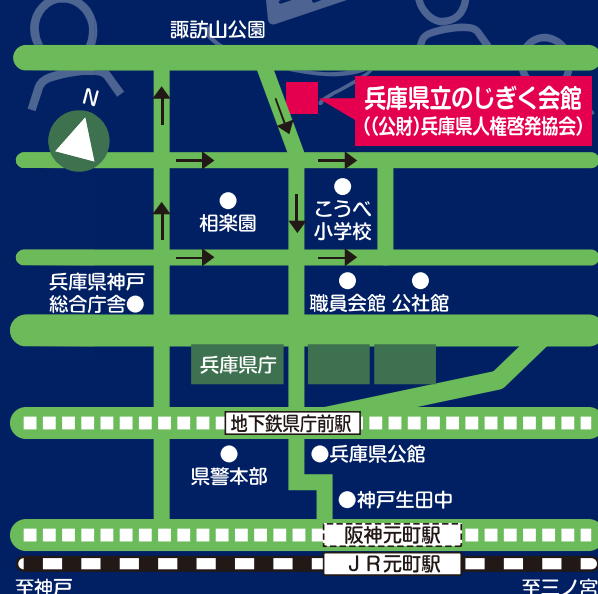
神戸市中央区山本通4丁目22-15

JR「元町駅」又は阪神電車「元町駅」から北へ徒歩15分
神戸市営地下鉄「県庁前駅」下車、北へ徒歩5分
神戸市営バス(7系統)諏訪山公園停留所下車2分

※駐車場はありませんので、車でお越しの際には近隣駐車場をご利用ください。

予約不要

入場無料



主催：兵庫県弁護士会

お問合せ先：☎078-341-7061



プログラム

第一部 SNSと人権～人権救済への新たな取り組み～

13:00～14:30

①県における人権救済の取組に関する報告

兵庫県人権推進室

②発信者情報開示制度による人権救済と限界

兵庫県弁護士会会員 弁護士 木村 裕介

第二部 SNSと民主主義

14:45～17:00

基調講演 山本龍彦 教授

SNSと民主主義

～言論空間の汚染を防ぐためにできること～

パネルディスカッション

山本龍彦 教授 坂本団 弁護士(大阪弁護士会)

塚田哲之 教授(神戸学院大学)



講師プロフィール



山本龍彦 教授

慶應義塾大学大学院法務研究科教授、同大学X Dignityセンター共同代表。慶應義塾大学法学部卒業、同大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学、博士(法学)。内閣府消費者委員会委員。日本公法学会理事。デジタル庁・経済産業省「国際データガバナンス検討会」座長、総務省「ICT活用のためのリテラシー向上に関する検討会」座長、DIGITAL POSITIVE ACTION推進会会長、総務省「デジタル空間における情報流通の諸課題への対処に関する検討会」座長代理などを務める。
主な著書に、『プライバシー』(法律文化社)、『アテンション・エコノミーのジレンマ』(KADOKAWA)、『〈超個人主義〉の逆説——AI社会への憲法的警句』(弘文堂)。